

# 一般社団法人イーストとくしま観光推進機構外部評価委員会 議事録

日 時 令和5年6月19日(月) 午前10:28~12:22

場 所 シビックセンター4階 活動室3

事務局 (仁木)	<p><b>1 開 会</b></p> <p>定刻より少し早いですが、ただいまから、「一般社団法人イーストとくしま観光推進機構 外部評価委員会」を始めさせていただきます。</p> <p>はじめに、資料の確認をさせていただきます。</p> <p>事前にメールでお送りしました資料につきまして、本日は印刷したものをお配りしております。</p> <p>次第、資料1「外部評価委員会設置要綱・名簿」、資料2「事業報告資料」、資料3「地域再生計画」、資料4「実施計画」、最後に、A5サイズの冊子「カンパイ徳島」の以上6点でございます。</p> <p>資料の不足はございませんでしょうか。</p> <p>また、委員会後には、議事録の要旨を作成し、委員の皆さまの確認を経て、委員長の承認をいただいた後、当機構及び15市町村のホームページにて公開してまいりますので、よろしく願いいたします。</p> <p>議事に入らせていただく前に、一般社団法人イーストとくしま観光推進機構外部評価委員会設置要綱について、事務局より説明します。</p>
事務局 (久米)	<p><b>2 外部評価委員会設置要綱の説明</b></p> <p>【配布資料にそって説明】</p>
事務局 (仁木)	<p><b>3 (新) 委員の紹介</b></p> <p>それでは、委員の皆さまをご紹介します。昨年度から委員の変更はございません。</p> <p>豊田哲也(とよだてつや) 委員でございます。</p> <p>高木博代(たかぎひろよ) 委員でございます。</p> <p>佐藤憲治(さとうけんじ) 委員でございます。</p> <p>青木伸太郎(あおきしんたろう) 委員でございます。</p>
事務局 (仁木)	<p><b>4 委員長・副委員長の選出</b></p> <p>続きまして、本委員会の委員長の選出を行います。委員長は、外部評価委員会設置要綱第4条第2項により、委員の互選により決定することと</p>

	<p>なっております。本来ですと、委員から仮の議長を選出していただき進行をお願いするところではありますが、時間の関係で、引き続き事務局で進行させていただきたいと思います。</p> <p>どなたか候補者の推薦があればお願いいたします。</p>
A 委員	<p>引き続き、豊田哲也委員に委員長をお願いしてはいかがでしょうか。</p>
事務局 (仁木)	<p>ただ今、豊田委員の推薦の発言がありましたが、いかがでしょうか。</p> <p>【異議なしの声】</p>
事務局 (仁木)	<p>それでは、委員長は豊田委員に決定しました。豊田委員長よろしく願 いいたします。</p>
委員長 (豊田)	<p>皆様どうぞよろしく願 いいたします。</p> <p>まず、副委員長を選出します。</p> <p>副委員長は、外部評価委員会設置要綱第 4 条第 3 項により、委員長の指 名により決定することになっております。</p> <p>引き続き、高木博代委員にお願いできればと思っておりますが、いかがで すか。</p> <p>【異議なしの声】</p>
委員長 (豊田)	<p>それでは、高木委員、副委員長をよろしく願 いいたします。</p> <p><b>5 議 事</b></p> <p>議事に移ります。</p> <p>本日の議事は、徳島県東部圏域の延べ宿泊者数、観光入込客数の重要事 業評価指標の検証や KPI 検証、令和 4 年度 地方創生推進交付金を活用し て実施する事業の費用効果の検証に関することです。</p> <p>内容について、事務局より、報告をお願いいたします。</p>
事務局 (渡辺) (久米)	<p>【配布資料にそって説明】</p>

委員長 (豊田)	ただ今の説明につきまして、ご質問はございますか。
B 委員	<p>団体客が減っていると言われているが、それは私も実感している。今後どう集客していけばよいのか思案している。</p> <p>ターゲットを団体客とするのか個人客とするのか。</p> <p>もう1つは、富裕層かそうでない層かである。例えば高級といわれるホテルでは、少人数のお客さんが食事をする前に、人形浄瑠璃を見たいのでホテルに来て欲しいという依頼がある。少ない日で3～4人、多いと15人ぐらいの少人数であるが、当然、ホテルに行くと割高になるが、こういった富裕層向けの需要もあるのだと改めて実感している。</p> <p>今後、高級路線と一般路線と、どうターゲットを絞ればいいのか。</p> <p>イーストとくしまの考えをお聞かせ願いたい。</p>
事務局 (渡辺)	<p>非常に難しい問題で、これが正解という訳ではないが、まずは両輪でと考えている。</p> <p>個人旅行が多くなってきた理由は間違いなく、スマホの普及である。スマホで飛行機、宿泊、レンタカーなど何でも予約でき、個人が欲しい時に、欲しい情報を取れる。</p> <p>イーストでは、個人をターゲットにSNSで発信し、「いいね」をたくさんつけてもらい、発信を見た人が別の人に伝えるような、拡散の効果を期待し、個人に情報発信をしっかりとしていく。</p> <p>一方で、阿波十郎兵衛屋敷や阿波おどり会館などには、バス2～3台で来て、100人前後の団体客が同じ所を一気に見ていただくことができる。そういった大型施設への団体客は減ってきているが、東京・名古屋・大阪・福岡などの大都市では、団体旅行が得意な旅行会社もあり、募集をかけ、バスを連ねて行くようなツアー需要が今もあるのは事実である。こういった所にもしっかりとセールスを行っていきたい。</p> <p>そのため、阿波おどり会館や十郎兵衛屋敷、うずしお観潮船、ゼロウエストセンターなど、団体でも対応できるような観光素材を整理している。</p> <p>また、昨年度から、県が修学旅行の誘致の取り組みを改めて行っており、県外の修学旅行を取り扱う学校関係への営業活動や県内の他のDMOと一緒に教育旅行の冊子を作り、紹介もしている。</p>
B 委員	<p>両輪でやっていくという、イーストの方針は分かった。我々もお客さんを迎える立場の一人として、しっかりと見極め、研究していきたいと思っている。</p>

事務局 (渡辺)	<p>補足になるが、昨年10月からインバウンドが増えてきた。徳島でもお遍路姿の外国人をよく見かける。コロナ前に、徳島県が香港で開催したイベントに参加した香港の人から7月にメールをいただき、11月に16人お越しいただいた。藍染工房とその関連施設の本格的な視察をしたいとのことで、イーストが訪問交渉し、工房や地元の高校など8箇所を回っていただいた。</p> <p>香港の方たちは予想以上に熱心で、香港以外の人々にもこのような分野に関心を持たれる方が多いのではないかと思われる。今回は藍染だったが、こういったコンテンツを他にも準備して、問い合わせがあれば対応できるようにしたい。</p>
C委員	<p>会費の件でおうかがいしたい。一般会員は1万円であるが、どんなメリットがあるのか？</p>
事務局 (渡辺)	<p>賛助会員は年10万円、一般会員は年1万円いただいている。会員には、私どもの取り組み、観光客の動向、国の動向など、いろんな情報を共有させていただいている。それ以外には、私どもが主催する意見交換会や協議会に来ていただいている。以前は来ていただいていたが、近年は、一般会員にも参加いただき、できるだけ多くの意見をいただくようにしている。賛助会員と一般会員の明確な区別はあるが、会員には様々な情報共有を図っていった。</p>
C委員	<p>ツアーなどの情報発信をもっと行えば、さらに会員が増えるかもしれない。そのためにも、分かりやすいツアーを組んで情報発信を行えば、会員も納得し、入会に繋がっていくのではないか。</p> <p>もう1点。冊子「カンパイ徳島」に掲載されているお店から広告料は頂いてないのか。</p>
事務局 (渡辺)	<p>広告料は頂いていない。15市町村の店に1軒1軒調整し、こちらの事業費で冊子を作成した。</p>
C委員	<p>観光客、特にビジネスで徳島を訪れた時にこれを見て、いいなと思った所に行ってくださいのために作られた冊子ということは理解できる。</p> <p>イーストでは、藍染ののれんを作る助成をしているが、せっかくなら藍のれんを作って店先に掛けている店をもっと掲載してもよかったですのでは</p>

	<p>ないか。藍のれんの店や、料理・地産地消を絡めて発信していくのもいいのではないか。</p> <p>さらに、助成を行っている店からの情報発信をお願いしてみてもいいかと。徳島はいろんな食材が有名だが、料理として出来上がったもので有名なものがない。徳島ラーメン、半田ソーメンぐらいで、徳島の食材を使って徳島でしか食べられないもの、出来たものを食べる、という切り口で発信していくのもいいと思う。</p>
事務局 (渡辺)	<p>助成している店に、情報発信の協力依頼はできていなかった。検討してみたい。</p>
委員長 (豊田)	<p>言われてみると、カンパイ徳島には藍のれんをかけている所とそうでない所がある。藍のれんを掛けた店の紹介というわけではないのか。</p>
事務局 (渡辺)	<p>15市町村にわたって、万遍なく店を掲載するという方針で進めたが、掲載の調整において、委託した事業者からは、「うちは宣伝してくれなくても地元の人が来てくれたらそれでいい」と言う店もあり、店を探すだけでも苦労したと聞いた。それで、完成までに思いのほか時間がかかった。ただ、「カンパイ徳島を見て店に来た」というお客さんもおり、好意的にとらえていただいた店もある。</p> <p>掲載店には今後も足を運び、関係性を継続していきたい。</p>
A 委員	<p>私は現在、飲食業界を調査している。東大阪市布施の地元の人しか行かない商店街にある分散型ホテルが、飲食店とタイアップした取り組みが参考になる。「大阪の下町の日常を体感する」ことをコンセプトとするそのホテルは、宿泊客に地元の人が通う飲食店での飲食（4食分）をセットにした宿泊プランを販売している。飲食店は地元客のみで商売が回っているため、はじめは理解を得るのに苦労したが、県外客を連れてくると、それまで代わり映えしなかった店の雰囲気が変わり、「地域のために頑張ってくれているなら」と協力してくれるようになった。宿泊業者と飲食業界がビジネスの関係だけじゃなく地域をよくするために協力することがこれから必要になっていくのだろう。</p> <p>徳島も、カンパイ徳島に掲載の飲食業者と関係性を構築していき、飲食業者と宿泊業者にもお互いに「ここいいよ」と情報提供して貰い、地元の良さを盛り上げていく取り組みをしていけばいいのでは。</p>

委員長 (豊田)	東大阪は空き店舗をホテルに改装した分散型ホテルを起爆剤にした取り組みを進めていることは知っている。飲食店と宿泊施設の関係構築は、誰が仕切っているのか。
A 委員	宿泊施設の支配人が直接飲食店にお願いに行っている。はじめはチケットや割引クーポンを持って行っていき、ホテルの常連枠を確立した。
委員長 (豊田)	今回のカンパイ徳島にはクーポンや何かの特典は付けているか。制作にあたって検討したのか。
事務局 (渡辺)	付けてない。今回は、徳島のナイトタイムエコノミーを充実させるため、飲食店の紹介冊子として制作したもの。
B 委員	以前、徳島市の津田町にある「春こま」という居酒屋に船でお客を連れて行くツアーを、イーストとくしまとエアトラベル徳島さんが一緒に進めていた。この前、久しぶりに行くと覚えてくれていて、その居酒屋とはいい関係性が続いている。津田の盆おどりと食事処をセットにした「味の直行便」と銘打ったツアーは人気で、結構繁盛している。ほかにも、沖洲の海賊料理「ししくい」のお店や「新鮮なつとく市」など、食事処3カ所ぐらいからお客さんに選んでもらうような、BtoBでは案内できないようなツアーが今後の個人向けにはいいのかと。
C 委員	受けると思う。どんどんSNSで発信していつてもらいたい。
委員長 (豊田)	去年のこの委員会で、水上交通を活かして観光誘客に結び付けていきましょう、という話題があったが、具体的に今回の資料のどの部分か。
事務局 (渡辺)	資料2のp23の、「第7回 2022 夏のきたじまるしえ」というイベントで、水上タクシーをNPO法人に出していただき、夜のツアーは旅行商品として、エアトラベル徳島さんに販売してもらった。 北島町だけでなく、藍住町でも同じように水上タクシーを出す「あいずみスマイリーマルシェ」ツアーを実施させていただいた。 タイの水上マーケットのようなイメージで、水上タクシーで移動し、船着き場の近くのレストランで食べて頂くようなツアーも今後どんどん考えていけるのではないかと。
委員長 (豊田)	仮設の栈橋はどこが作ったのか？

事務局 (渡辺)	国交省の許可を取って、NPO 法人が設置した。普通の栈橋は設置に認可も含め何年もかかるが、仮設栈橋なら比較的簡単にできる。一昨年調査の時にも国交省の方に来ていただいたが、国交省さんがイーストとくしまの事業を発端として新たな事業をしていただいたのには大変意義があり、今後の可能性を感じた。川の駅がたくさんできるとにぎわいが増えていい。西新町にも川の駅の近くにホテルができる。
委員長 (豊田)	徳島市のキャッチフレーズは「水都とくしま」なので、周遊ボートや水上タクシーで魅力を発信していくことが重要と思う。
B 委員	先ほどの「春こま」も一度行っていただくとよく分かるが、地元の人が日常的にいつでも行ける所で、行った先で食べて、帰りの船もイオンモールの灯りなど船上から見る夜景もいい雰囲気である。
C 委員	地元の人に良さを体感してもらって、発信するのがいいと思う。鳴門の釣り堀も期間限定ではなく、常時実施されており、釣った魚をその場でさばいてくれ、バーベキューができる。私自身とても感動した。そういう体験型観光は人を呼べるので発信していくといい。
A 委員	イーストとくしまのHPは相当充実しており、どこか徳島東部エリアでいい所がないか？と聞かれたたらHPを見て選んでおすすめしている。
事務局 (渡辺)	情報を詰め込み過ぎると、かえってなかなか知りたい事にたどり着かないといったご指摘もあるものの、今は、できるだけたくさんの情報を整理して発信していきたいと思っている。
委員長 (豊田)	コロナ禍前は「とくしま裏路地酒場探究会」によるHP記事掲載や、外国人向けに敷居が高いと思われるお店にアテンドする取り組みをおこなっていたと思うが、現状ではどうなっているのか。
事務局 (渡辺)	以前の取り組みは存じているが、コロナ禍以降、改めて再開するとは聞いていない。イーストでコロナ前のパンフレットを手作りで修正してご案内したことはある。外国人向けに英語の飲食店紹介のパンフレットがあれば更がいいと思っている。

委員長 (豊田)	外国人からの訪問者にホテル内のレストランだけを紹介するとがっかりされるが、地元の人でにぎわう庶民的な居酒屋に連れて行くとエキサイトしてくれる。そうしたニーズに対応していくことが求められる。
事務局 (渡辺)	地元のサラリーマンが日常で行くような、普通の飲食店を紹介できるようにレパトリーを増やしていきたいと思っている。
A 委員	ツーリズム徳島さんがやっているような、徳島を味わえるようなお店3軒を巡るようなツアーもやってみれば面白い。 B 委員のおっしゃる津田町の「春こま」も、良い取り組みだと思う。
委員長 (豊田)	着地型旅行商品造成数の説明で、目標 80 に対して 120 の造成実績となった、とある。2020 年は 47 個と多かったが、2021 年は 29 個、2022 年は 12 個と数が減っているように見えるが、その理由は何か。
事務局 (久米)	2020 年、2021 年は食とか伝統芸とかの技にスポットを当てた体験型の商品を数多く造成した。2022 年はそれまで造成した商品の誘客に力を入れるため造成数は減った。
委員長 (豊田)	これは新規に増やした分の数か？
事務局 (久米)	新規のみの数で、延べの数ではない。2019 年 32 個、2020 年 47 個、2021 年 29 個、2022 年 12 個、合計 120 個の造成を行い、4 年間の目標数 80 を上回ったという説明をさせてもらった。
委員長 (豊田)	それならば、新規造成数だけではなく、各年で実施されている数（うち新規何件）のような形で記載すればよいのでは。その方が事業成果として実態に即しているのではないか。
事務局 (久米)	検討してみる。
事務局 (渡辺)	時間をかけて造成したとたんにコロナとなり、積極的に誘客を行えない状況が続いた。今後、さらに増やしていくというより、まずはコロナ前のように誘客の受け入れ先として継続されているか 1 軒 1 軒調査している。あわせて、造成してきたものをしっかりと PR していきたい。



委員長 (豊田)	<p>私がシンポジウムに関わった「にし阿波観光圏」の民泊事業では、コロナ後の誘客をリスタートしようとしているが、休業状態で空白だった2年間で状況が大きく変わり、高齢の経営者がこれから再開・継続するにも難しい場合があるとお聞きした。イーストとくしまの場合、どの程度当てはまるかは分からないが、「新しいお客さんがどんどん来るので一緒にやりませんか」と事業者を励ましサポートするような取り組みをお願いしたい。2020年から2021年に勢いをつけて造成した企画を見直し、リバイバルしていただければと思う。</p>
委員長 (豊田)	<p>他にご質問等はございますか。</p>
A 委員	<p>住民満足度調査の中で、イーストとくしま観光推進機構の認知度を調査する項目はあるか。</p>
事務局 (渡辺)	<p>観光地域づくりに関するアンケートでは触れるところがあって、資料2のP20の下から3番目の「取組への満足度」がそれに当たるのでは。</p> <p>「イーストとくしま観光推進機構と連携し、次のような取り組みを行っているが、どの程度知っているか？」との質問があり、1知っている、2聞いたことがある程度、3知らない、の3つの選択肢から答えてもらった調査がある。8.5%は観光推進活動の取り組みに対する満足度で、非常に満足度は低く、もう少し頑張らなければいけないと思っている。</p>
委員長 (豊田)	<p>調査はイーストさん独自でしているのか、シンクタンクとかでやっているのか。委託であれば、業者から上がってきた報告の資料もあるか。特に、住民満足度は事業成果にも深く関わるし、聞き方によって結果が違ってくる可能性がある。委員には分析のプロもいらっしゃるし、私も研究上関心があるので、後日共有いただければありがたい。</p>
事務局 (久米)	<p>調査は独自に企画し、東京の会社に分析を委託している。その会社は全国の数多くの団体のアンケートの分析をしており、資料2 P20の調査結果、左側の平均がその全国の団体の平均で、右側が徳島東部圏域の数字であるが、アンケートの質問文も全国と比較できるように、相談しながら質問内容を決めている。今回のサンプル数は600件を超え、実態を表している結果になっていると思う。地域住民の満足度の向上があつての</p>

<p>委員長 (豊田)</p>	<p>観光推進であり、地方創生推進交付金の重要 KPI 指標の 1 つなので、令和 3、4、5 と少しでも上げていかなければならない数字である。令和 5 年も住民満足度アンケートは実施予定だ。4 年度の資料は共有させていただく。</p>
<p>事務局 (久米)</p>	<p>令和 3 年から 5 年の取り組みをふまえ、令和 6 年度以降の予定、この事業がどうやって展開していくのか見通しがあれば教えてもらいたい。</p>
<p>委員長 (豊田)</p>	<p>この交付金は管理運営経費に使える数少ない交付金で、全体予算の中でも占める割合が多い。現計画は、令和 3、4、5 の 3 年間で認定されているが、令和 6 年度以降も取りに行きたいと思っている。具体的にどういいう計画を立てるかは、今後検討していくが、メインは万博に照準をあてることになるのではと思っている。令和 6、7、8 年の 3 年間のちょうど真ん中の令和 7 年に万博が開催される。ビフォー万博、万博本番、アフター万博といった枠組みで、万博の効果をいかに徳島東部圏域が享受できるかが重要となってくる。</p> <p>いずれにしても、令和 5 年度までは交付金の認可を受けているので、来年度もこの外部評価委員会への出席をお願いしたい。</p>
<p>委員長 (豊田)</p>	<p>いろいろなプロジェクトが取り組まれ、実績がこうした形で目に見えてきた点は大変心強い。徳島大学としても、共催講座が安定した形で継続できるようになったことを大変喜んでいる。このようなスキームは予算の確保とスタッフの献身が大事だと思う。今後も安定的に取り組みめるような体制を希望している。</p>
<p>事務局 (渡辺)</p>	<p>ほかに委員から何かございませんか？</p> <p>ないようですので、最後に事務局から何かあればお願いします。</p>
<p>事務局 (渡辺)</p>	<p>本日は、長時間に渡り、委員の皆さま方から大変参考となるご意見を頂きありがとうございました。頂戴した意見を今年度のアクションにしっかりと反映させ、来年度にはこんなこともできたと報告できるよう、しっかりと活かしていきたい。</p> <p><b>6 閉 会</b></p> <p>これをもちまして、本日の外部評価委員会を閉会いたします。</p> <p>(終 了)</p>